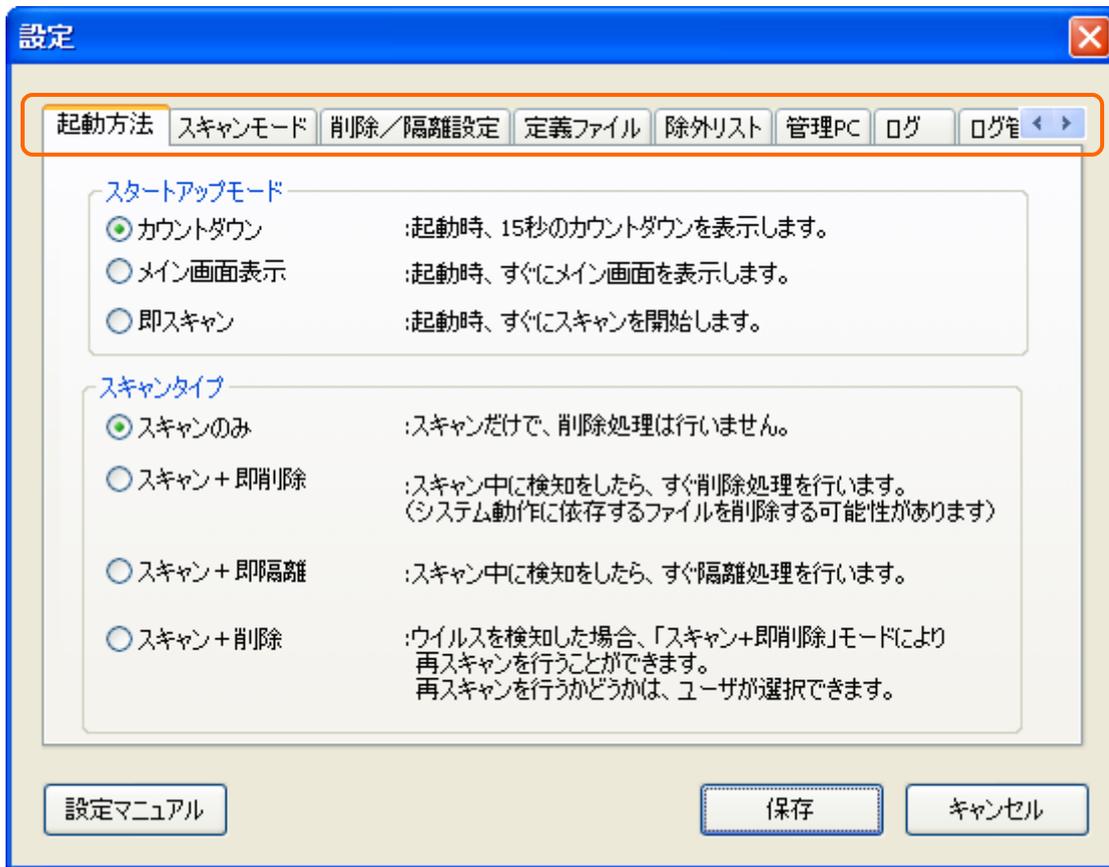


リトマス USB2 設定画面マニュアル



タブの説明（隠れているタブは、右上の でスクロールすると表示されます）

タブ	内容
起動方法	リトマス USB2 起動時の動作を設定することができます。
スキャンモード	リトマス USB2 スキャンモードを設定することができます。
削除/隔離設定	メイン画面の削除ボタンか隔離ボタンどちらを有効にするか設定することができます。
定義ファイル	定義ファイルの取得先を設定することができます。
除外リスト	スキャンを除外するファイル、フォルダ、拡張子を設定することができます。
管理 PC	管理 PC の設定を行うことができます。
ログ	ログの保存設定を行うことができます。
ログ管理	ログ管理サーバーの設定を行うことができます。
画面	リトマス USB2 の画面設定を行うことができます。
ユーザー	PC の権限/ユーザーに関する設定を行うことができます。
お知らせ	弊社からのお知らせに関する設定を行うことができます。

NOTE

- 設定を保存する場合は、管理者の許可を得てください。
- 設定変更の際にリトマス USB2 へのウイルス感染リスクがございます。必ず最新パターンのウイルス対策製品がインストールされている PC で行なってください。

■タブ：起動方法

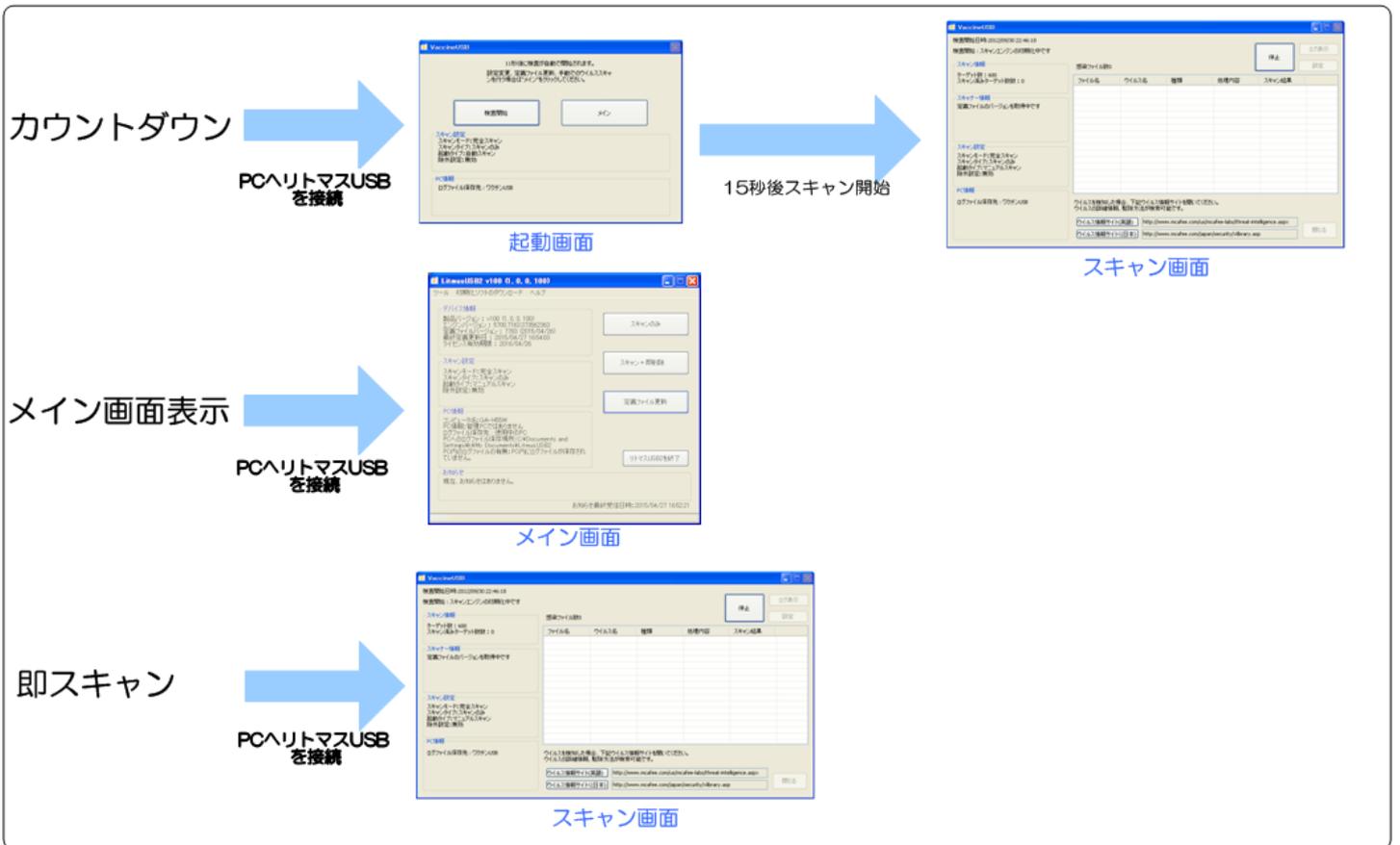
■スタートアップモード

リトマス USB2 起動時の動作を設定することができます。

スタートアップモード

- カウントダウン : 起動時、15秒のカウントダウンを表示します。
- メイン画面表示 : 起動時、すぐにメイン画面を表示します。
- 即スキャン : 起動時、すぐにスキャンを開始します。

- ・ **カウントダウン**：起動時に約 15 秒のカウントダウン（スキャン開始）画面を表示します。
- ・ **メイン画面表示**：起動時にカウントダウン画面を表示せず、メイン画面を表示します。
- ・ **即スキャン**：起動時にカウントダウン画面は表示しないで、すぐにスキャンを開始します。



■タブ：起動方法

■スキャンタイプ

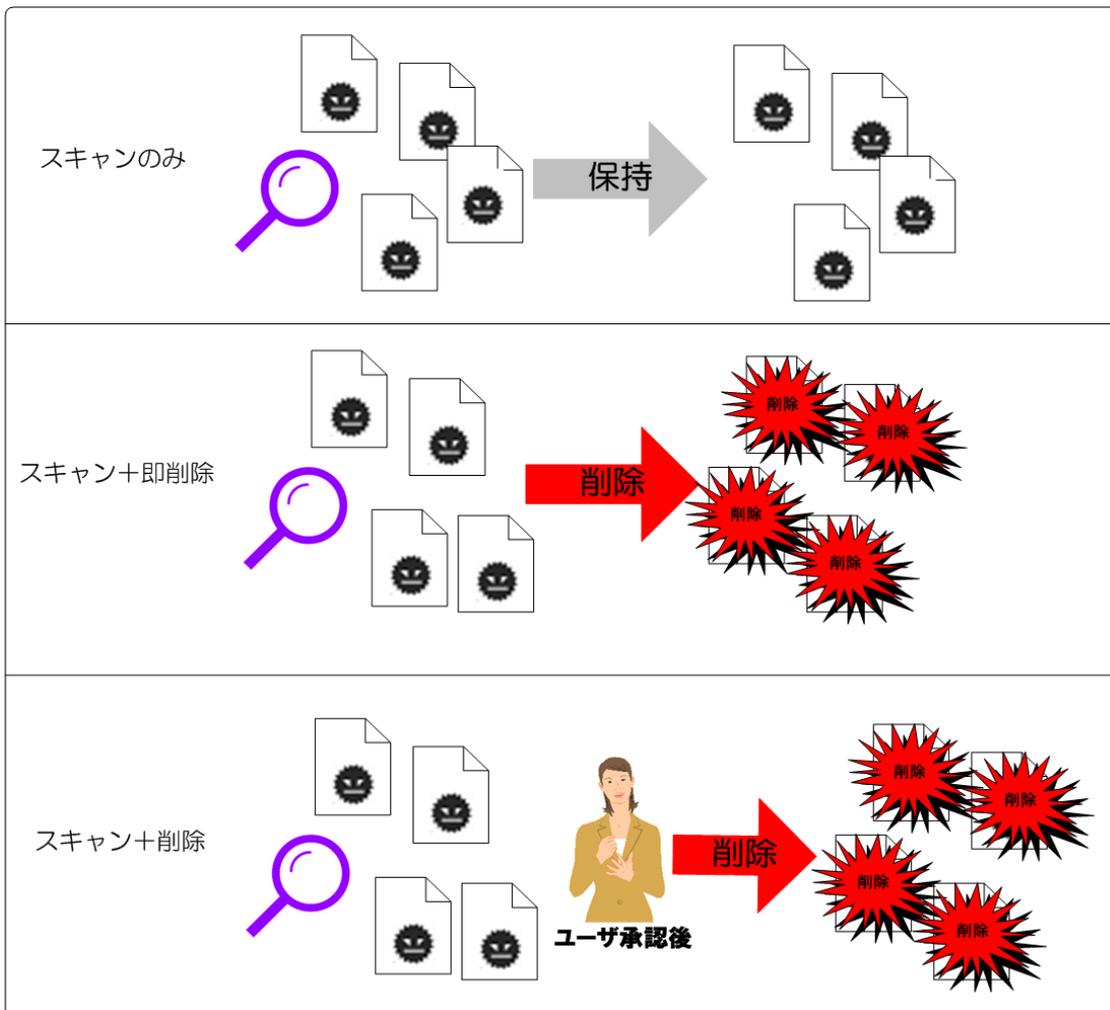
リトマスSB2のウイルススキャンのタイプを選択することができます。

スキャンタイプ

- スキャンのみ :スキャンだけで、削除処理は行いません。
- スキャン+即削除 :スキャン中に検知したら、すぐ削除処理を行います。
(システム動作に依存するファイルを削除する可能性があります)
- スキャン+削除 ウイルスを検知した場合、「スキャン+即削除」モードにより再スキャンを行うことができます。
再スキャンを行うかどうかは、ユーザが選択できます。

項目	内容
スキャンのみ	ウイルスを検知しても削除・隔離はしません。
スキャン+即削除	ウイルスを検知次第、すぐに削除処理を行います。
スキャン+即隔離	ウイルスを検知次第、すぐに隔離処理を行います。
スキャン+削除	ウイルス検知を1度行い、ウイルス検知終了後、ウイルスが発見されるとウイルスファイルリストを表示します。ユーザー承認後にウイルス感染したファイルを削除します。

まず[スキャンのみ]を選択しウイルススキャンを行なって頂き、そのウイルスが削除・隔離しても問題無い事を確認して頂いた後に、[スキャン+即削除]または[スキャン+即隔離]をして頂くことを推奨致します。



■タブ：スキャンモード

■スキャンモード

ウイルススキャンを行う範囲を設定することができます。

スキャンモード

- 完全スキャン :認識しているドライブ全て検査します。
- 標準スキャン :感染率が高い場所を指定して検査することができます。
- SDカード・USBメモリ・FDDスキャン :PCに接続されているSDカード・USBメモリ・FDDを検査します。
- カスタムスキャン :スキャン場所を選択して調査することができます。
- プロセススキャンのみ :PCで動作しているプロセスのみ検査します。

項目	内容
完全スキャン	すべてのドライブをスキャンします（ネットワークドライブはスキャンしません）。 ※弊社推奨設定
標準スキャン	感染率が高い範囲を限定してスキャンします。お時間がない場合ご使用ください。 ※1)、2)、3)、4) は、指定されたパス内の階層フォルダは検索しません。 1) C:¥ 2) C:¥WINDOWS¥ 3) C:¥WINDOWS¥system¥ 4) C:¥WINDOWS¥system32¥ 5) C:¥Documents and Settings¥ (※Vista 以降は C:¥Users¥となります)
SDカード・USBメモリ・FDDスキャン	PCに接続されている、SDカードなどのリムーバブルディスクと認識されるメモリ媒体をウイルススキャンします。
カスタムスキャン	ユーザー様が選択した場所をスキャンします。 スキャンする範囲は⑤スキャンリストで設定してください。
プロセススキャンのみ	PCで動作しているプロセスのみスキャンします。

カスタムスキャンを選択した場合、スキャンする場所を設定することができます。

スキャンリスト

C:¥386¥

項目	内容
スキャンフォルダを追加	クリックするとフォルダ選択画面を表示します。スキャンするフォルダを選択してください。スキャンリストへ追加します。
削除	スキャンリストに追加したフォルダを削除することができます。削除する項目を選択し、削除ボタンを押してください。

■タブ：削除/隔離設定

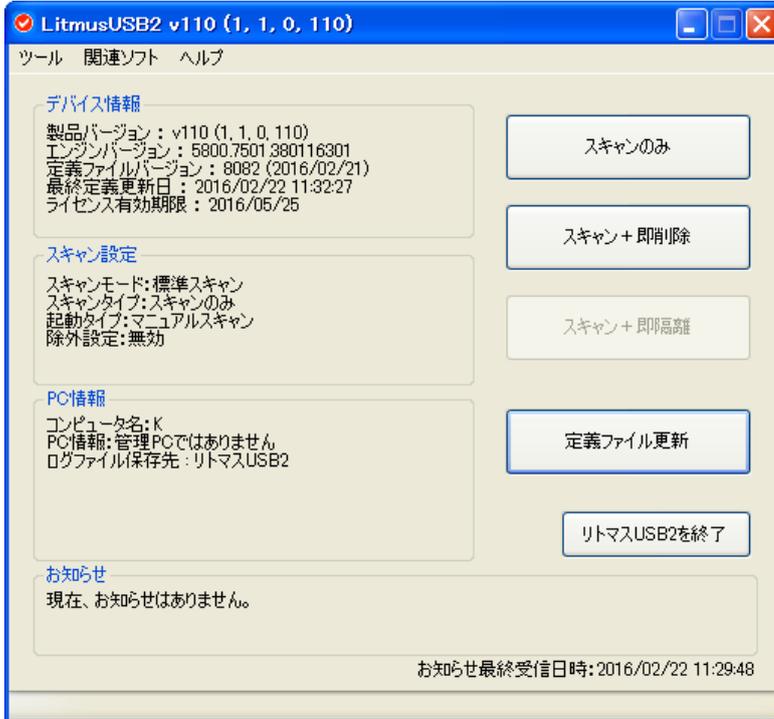
メイン画面で有効にするボタンを設定します。[スキャン+即削除]、[スキャン+即隔離]のどちらかを選択できます。同時に両ボタンを有効にすることはできません。

削除/隔離設定

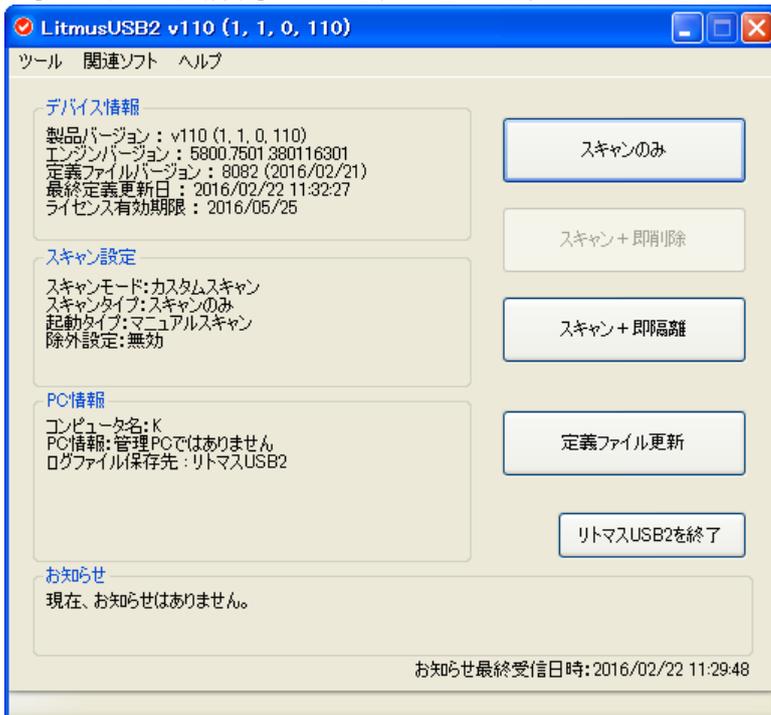
メイン画面で有効にするボタンを選択します。標準設定は[スキャン+即削除]です。

- メイン画面の[スキャン+即削除]ボタンを有効化
- メイン画面の[スキャン+即隔離]ボタンを有効化

■[スキャン+即削除]ボタンを有効化した場合のメイン画面



■[スキャン+即隔離]ボタンを有効化した場合のメイン画面



■タブ：定義ファイル
 ■定義ファイル更新方法

定義ファイル更新方法

- インターネットを使用して定義ファイルを更新します
- インターネット経由またはLocal Updater経由で定義ファイルを更新します
- ローカルネットワークを使用して、LocalUpdaterから定義ファイルを更新します

LocalUpdaterで設定した定義ファイル保存先の共有フォルダパスを入力してください。
 入力例：\\192.168.0.1\LocalUpdate

- インターネット経由またはMcAfee VirusScan Enterpriseから定義ファイルを更新します
- McAfee VirusScan Enterpriseから定義ファイルを更新します

[LocalUpdaterをダウンロード](#)

項目	内容
インターネットを使用して定義ファイルを更新します	インターネット経由で定義ファイルをダウンロードします。
インターネット経由または Local Updater 経由で定義ファイルを更新します	インターネットまたはLocal Updaterで定義ファイルをダウンロードします。
ローカルネットワークを使用して、Local Updater から定義ファイルを更新します。	Local Updater から定義ファイルをダウンロードします。
インターネット経由または McAfee VirusScan Enterprise から定義ファイルを更新します。	PCにインストールされているMcAfee VirusScan Enterpriseが持っている定義ファイルまたはインターネットで定義ファイルをダウンロードします。
McAfee VirusScan Enterprise から定義ファイルを更新します。	McAfee VirusScan Enterprise が持っている定義ファイルをダウンロードします。
LocalUpdater をダウンロード	定義ファイル中継ソフトウェア「ローカルアップデータ」ダウンロードサイト(web)へ移動します。

※Local Updater は定義ファイルを社内サーバーに一旦ダウンロードするためのサーバーソフトウェアです。
 本ソフトウェアの詳細ならびにご提供方法につきましては、別途ご案内いたします。

■タブ：除外リスト
 ■スキャン除外リスト

スキャンから外すフォルダ/ファイルとファイル拡張子を設定することができます。大文字小文字の区別は行いません。

項目	内容
除外処理有効ボタン	チェックをつけると、除外項目の追加が可能になります。
除外フォルダ/ファイルを追加ボタン	クリックするとフォルダ選択画面を表示します。スキャンを除外するフォルダ・ファイルを選択してください。除外リストへ追加します。
削除ボタン	スキャンの除外設定をしたファイル・フォルダ・拡張子を削除することができます。除外する項目を選択し、除外ボタンを押してください。
拡張子欄	スキャンを除外するファイル拡張子を追加することができます。スキャン除外する拡張子を入力し、追加ボタンを押してください。除外リストへ追加します。

■タブ：管理 PC

■リトマス USB2 への動作制限

管理 PC 以外の PC でリトマス USB2 の動作制限を掛けることができます。ユーザー様に設定変更等を禁止したい場合にご使用ください。

リトマスUSB2への動作制限

管理PC以外のPC上でのリトマスUSB2動作制限を設定します。

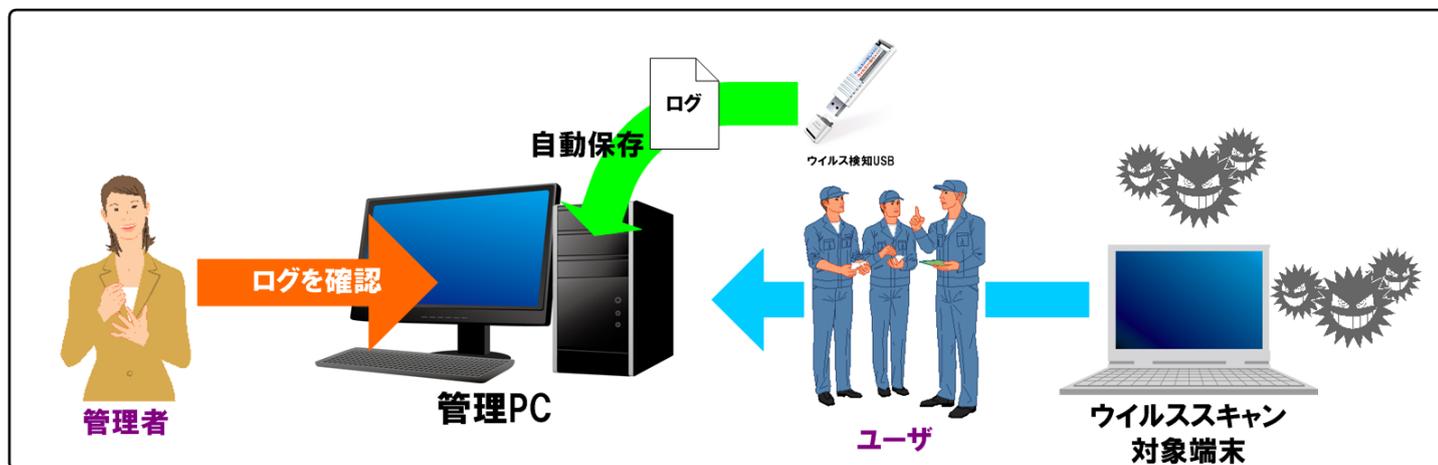
設定変更などの動作制限をかけます
 設定変更などの動作制限をかけません

管理PC設定ソフトウェアを開く

項目	内容
動作制限をかける	管理 PC 以外の PC 上で以下の動作制限をかけます。 <ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア更新 設定変更 ログファイルの出力/ログファイルの削除
動作制限をかけない	動作制限をかけません。
管理 PC 設定ソフトウェアを開く	管理 PC 設定ソフトウェアが格納されているフォルダへ移動します

■管理 PC ログファイル設定

管理 PC 用に自動的にログを保存するかどうかを設定することができます。管理 PC 用ログ保存を作成すると、管理 PC へ接続した時に自動的に管理 PC へログファイルが保存されるためログを容易に管理することが可能になります。



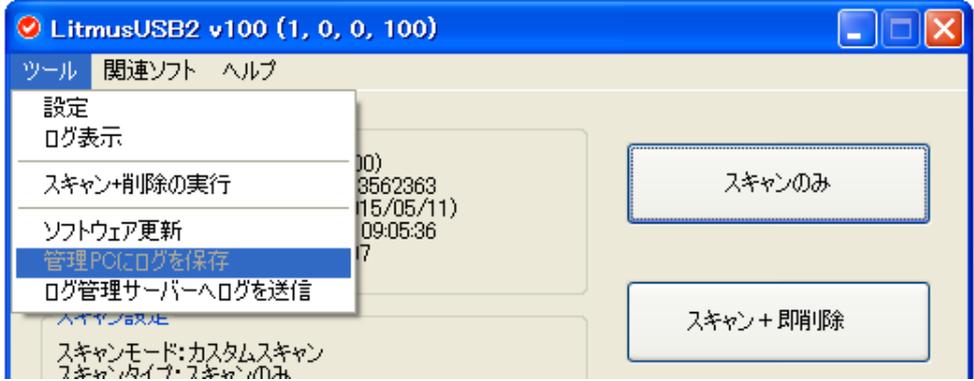
管理PCログファイル設定

管理PCに自動的にログを保存することができます。

管理PC用ログを作成しません
 管理PC用ログを作成します

項目	内容
管理 PC 用ログを作成しません	管理 PC 用ログをリトマス USB2 内に作成しません。
管理 PC 用ログを作成します	管理 PC 用ログをリトマス USB2 内に作成し、管理 PC へ自動的にログを保存します。

■ その他詳細事項

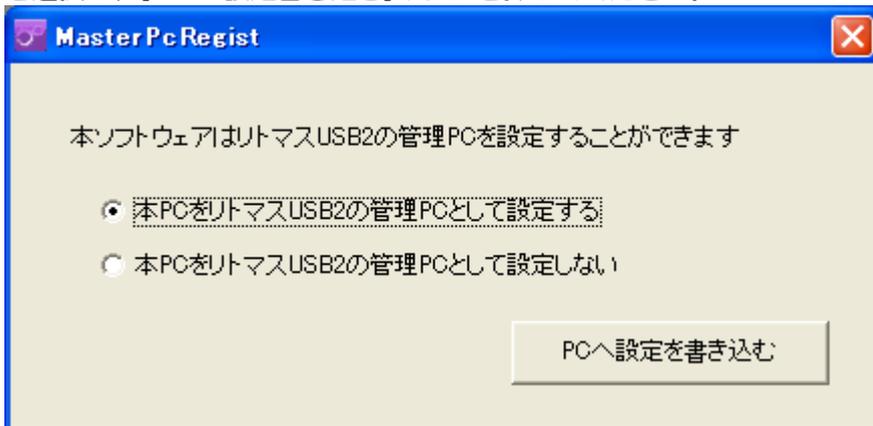
項目	内容
管理 PC へのログ送信タイミング	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス定義ファイル更新後 ウイルススキャン処理終了後 メイン画面→ツール→[管理 PC にログを保存]ボタンを押した時 
管理 PC へのログの保存場所	<p>ログインユーザーの My Documents¥AdminLitmusUSB2_Log フォルダの下です。</p> <p>※ 環境変数を実際のパス： %USERPROFILE%¥My Documents¥AdminLitmusUSB2_Log</p> <p>ログファイルは以下のフォルダに分けられ保存されます。 AdminLitmusUSB2_Log¥*****¥@@@¥ログファイル</p> <ul style="list-style-type: none"> *****：ウイルス有り無しで格納フォルダが変わります。 -ウイルス有り：Virus_Log -ウイルス無し：NoVirus_Log @@@@@：スキャンを行った月(YYYYMM)が入ります。
管理 PC 用ログ内容	通常のログ内容と同じです。
管理 PC へログを送信した後のリトマス USB2 内の管理 PC ログ	管理 PC へログファイルを送信後、送信に成功したリトマス USB2 内の管理 PC 用ログは削除されます。
管理 PC ログの閲覧方法	管理 PC ログはリトマス USB2 から閲覧することはできません。 管理 PC へ出力した管理 PC ログを閲覧ください。
リトマス USB2 内の管理 PC 用ログ削除方法	<p>リトマス USB2 のログ画面から[ログ一括消去]を押してください。</p> <p>※通常のログも削除されるのでご注意ください。</p> 
リトマス USB2 内に管理 PC 用ログ有無の確認方法	<p>リトマス USB2 のログ画面に下部に表示されます。</p> <p>ログ管理サーバー用ログファイル：なし 管理PC用ログファイル：なし</p>

■管理 PC の設定方法

管理 PC を設定するには管理 PC 設定ソフトウェアを使用してください。

[管理 PC 設定ソフトウェアを開く]ボタンで管理 PC 設定ソフトウェアが格納されているフォルダへ移動します。

管理 PC へ設定する PC 上で管理 PC 設定ソフトウェアを実行し、[本 PC をリトマス USB2 の管理 PC として設定する]を選択し、[PC へ設定書き込む]ボタンを押してください。



以下の OS/権限では管理 PC を設定しないでください。ログを保存することができません。

対象 OS/権限	<ul style="list-style-type: none">• Windows2000 /管理者権限を持っていないユーザー• WindowsXP /管理者権限を持っていないユーザー• Windows2003 Server /管理者権限を持っていないユーザー• Windows2003 ServerR2 /管理者権限を持っていないユーザー
----------	---

■タブ：ログ

■ログファイル保存設定

リトマス USB のログ保存先を設定します。

ログファイル保存設定

- ログをリムーバブルディスク内に保存します。(非推奨)
*リトマスUSB2がウイルス感染する可能性があります。
- リトマスUSB2の秘匿領域へログを保存します(強く推奨)
リトマスUSB2はウイルス感染しません。
WindowsXPの制限ユーザーではPCへ保存します
- ログ領域が少なくなったら、警告を表示します。

PCへのログファイル保存設定(リトマスUSB2内へログ保存ができない場合)

- ログをPCへ保存する場合、強制的にログを保存します
- ログをPCへ保存する場合、確認メッセージを表示します
- PCへはログを保存しません

スキャンエラーの記載

- スキャンできないファイルをエラーとしてログへ記載する
- スキャンできないファイルをエラーとしてログへ記載しない

項目	内容
ログをリムーバブルディスク内に保存します(非推奨)	ログをリトマス USB のリムーバブルディスクへ保存します。ログ保存時にリトマス USB へウイルス感染する可能性があるので推奨いたしません。
リトマス USB の秘匿領域へログを保存します(強く推奨)	ログをリトマス USB の秘匿領域へ保存します。ログ保存時もウイルス感染しません。WindowsXP の制限ユーザーでは PC へログを保存します。
チェックボックス ログ領域が少なくなったら、警告を表示します。	ログ保存領域の空き容量が少なくなった場合、警告を表示するかを設定します。

以下の OS/権限ではリトマス USB 内にログを保存することができません。

対象 OS/権限	<ul style="list-style-type: none"> • WindowsXP /管理者権限を持っていないユーザー • Windows2003 Server /管理者権限を持っていないユーザー • Windows2003 ServerR2 /管理者権限を持っていないユーザー
----------	---

上記環境ではログを PC へ保存します。その時の処理について設定を行うことができます。

PCへのログファイル保存設定(ワクチンUSB内へログ保存ができない場合)

- ログをPCへ保存する場合、強制的にログを保存します
- ログをPCへ保存する場合、確認メッセージを表示します
- PCへはログを保存しません

• ログを PC へ保存する場合、強制的にログを保存します

対象 OS/権限でウイルススキャンを終了した後に強制的に PC へログを保存します。
保存場所は「Documents and Settings¥user 名¥My Documents¥LitmusUSB2」フォルダです。

• ログを PC へ保存する場合、確認メッセージを表示します

対象 OS/権限でウイルススキャンを終了した後に以下のメッセージが表示され PC へログを保存するか選択することができます。



[はい]を選択した場合、ログがPCへ保存されます。

保存場所は「Documents and Settings¥user 名¥My Documents¥LitmusUSB2」フォルダです。

- **PCへはログを保存しません**

対象 OS/権限でウイルススキャンを行った場合であっても、PCへログを保存しません。

PCへログを残したくないユーザー様は本項目を選択してください。

■スキャンエラーの記載

リトマス USB はスキャンできないファイルがある場合、それをエラーログとして残します。

エラーをログへ記載するかを選択することができます。

※ver110 以降の標準は「スキャンできないファイルをエラーとしてログへ記載しない」です。

■タブ：ログ管理

■PC へのログファイル保存設定

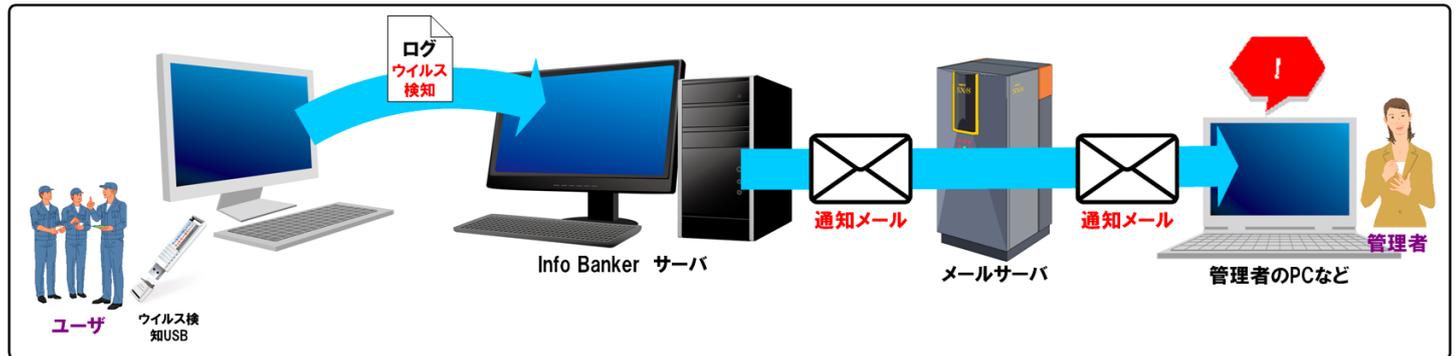
InfoBanker(別売り)/SKYSEA Client View(別売り)へログ送信する機能の設定をすることができます

InfoBanker とは？

Info Banker は、リトマス USB2 が取得したログをネットワーク経由で収集し、管理するサーバーソフトウェアです。ログはデータベース化し管理され、ネットワークで接続されたクライアント(PC 等)からブラウザ経由で閲覧することができます。管理者様の負担を減らし、運用管理を容易にします。

またウイルス検知ログ(ログ内のスキャン結果：Virus Found)受信時に、指定のメールアドレスへ通知メールを送ることができます。

管理者はウイルス有無を確認するために毎日 InfoBanker へログインする必要がなくなります。



設定画面

ログ管理サーバー設定

InfoBankerを使用します

ログ管理サーバー設定

ログ管理サーバーのIPアドレスを入力してください。
入力例：127.0.0.1

項目	内容
ログ管理サーバー設定	ログをどこに送信するか設定してください。 <ul style="list-style-type: none">• ログ管理サーバーを使用しません：ログを送信しません。• Info Banker を使用します：Info Banker へログを送信します。• SkySea C/V を使用します：SKYSEA Client View へログを送信します。
ログ管理サーバー設定	Info Banker/LogManager/SKYSEA Client View(管理サーバ)をインストールしたPCのIPアドレスを入力してください。

送信するログの種類

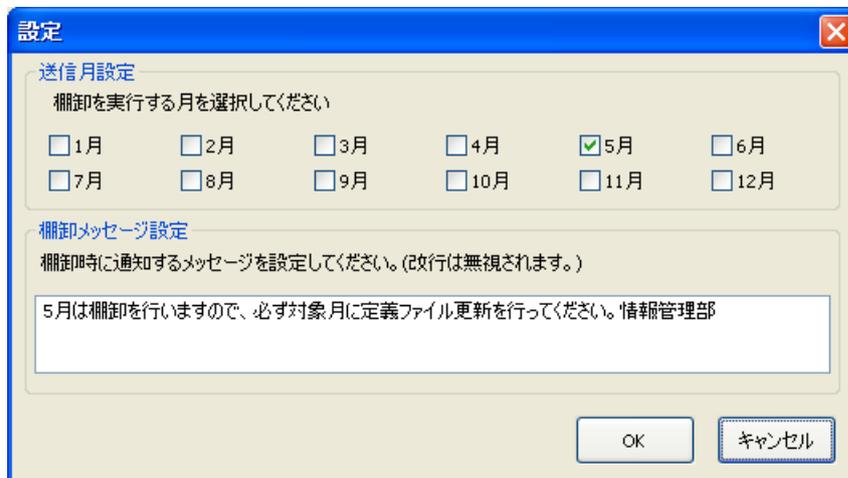
通常ログ

ウイルス検知ログ

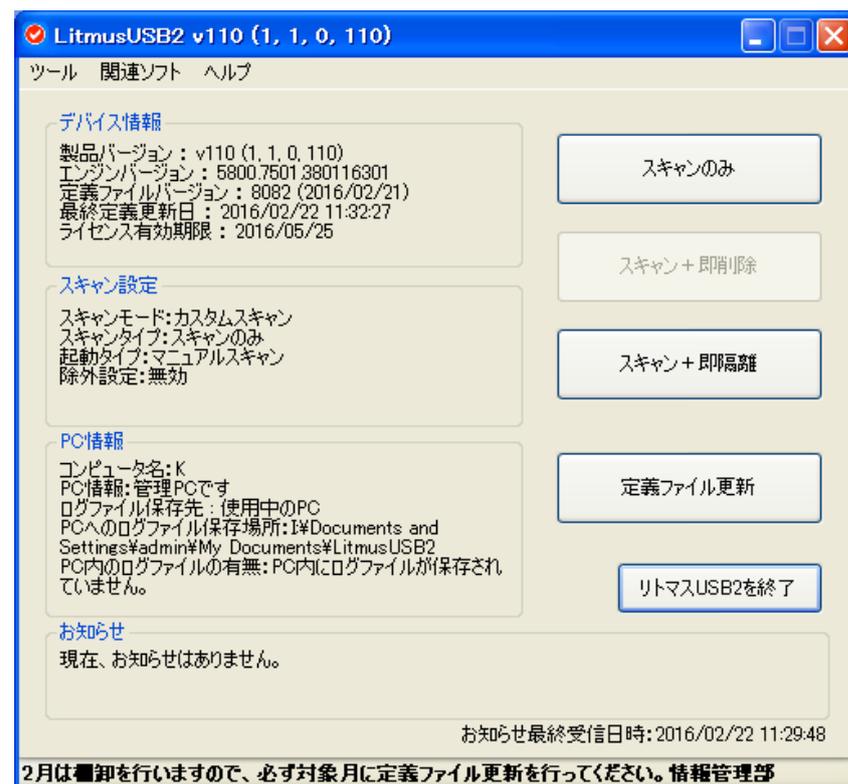
欄卸ログ

Info Banker への送信ログ設定 各ログ詳細については Info Banker のマニュアルをご確認ください。
 ※SKYSEA Client View では通常ログ、ウイルス検知ログ、棚卸しログはございません。

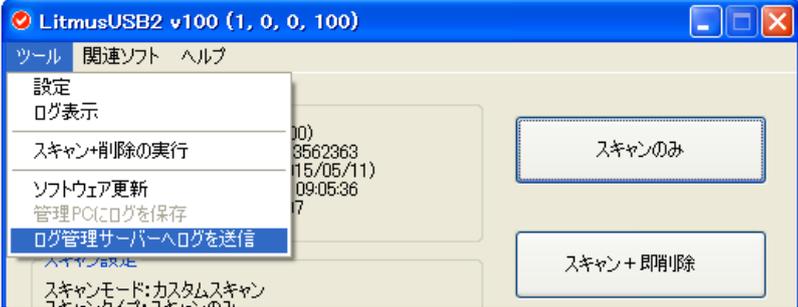
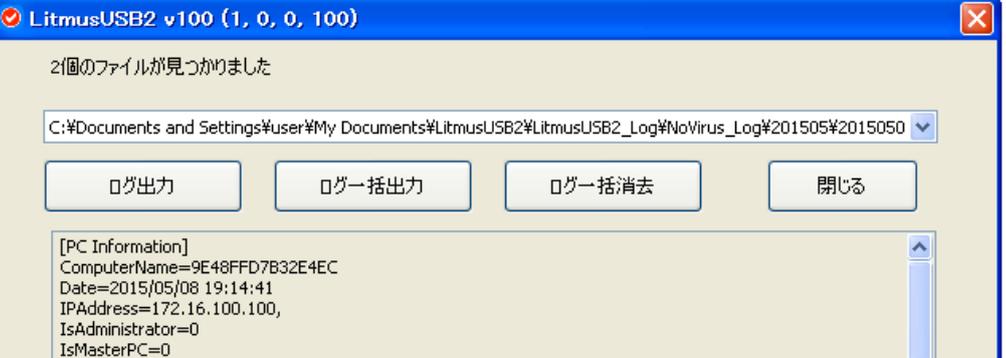
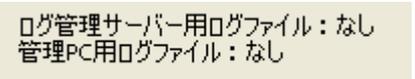
項目	内容
通常ログ	リトマス USB2 が毎回取得するログを送信します。
ウイルス検知ログ	リトマス USB2 がウイルスを検知したログのみ送信します。
棚卸しログ	棚卸しに使用するログを送信します。 棚卸しログ詳細設定ボタンを押すと、棚卸しを行う月、対象月にユーザーに表示するメッセージを設定できます。



メッセージ表示例※棚卸し設定した月のみ表示されます



■ その他詳細事項

項目	内容
ログ送信タイミング	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス定義ファイル更新直後 ウイルススキャン処理終了後 [ログ管理サーバーへログを送信]ボタンを押した時 
InfoBanker/LogManager/SKYSEA Client View 用ログの内容	InfoBanker/LogManager/ SKYSEA Client View の取扱説明書を御覧ください。
InfoBanker/LogManager/SKYSEA Client View へログを送信した後のログについて	InfoBanker/LogManager/ SKYSEA Client View へ ログファイルを送信後、送信に成功した リトマス USB 内のログは削除されます。
InfoBanker/LogManager/SKYSEA Client View 用ログの閲覧方法	InfoBanker/LogManager/ SKYSEA Client View 用ログはリトマス USB から閲覧することはできません。 InfoBanker/LogManager/ SKYSEA Client View へアクセスし閲覧してください
リトマス USB 内の InfoBanker/LogManager/SKYSEA Client View 用ログ削除方法	リトマス USB2 のログ画面からログ[一括消去]を押してください。 ※通常のログも削除されるのでご注意ください。 
リトマス USB 内に InfoBanker/LogManager/SKYSEA Client View 用ログがあるかの確認方法	リトマス USB2 のログ画面に下部に表示されます。 

■タブ：画面

■画面の最前面表示

リトマス USB2 のウィンドウを最前面にするかどうかを設定できます。

画面の最前面表示

- 通常表示します
- リトマスUSB2を常に最前面に表示します

項目	内容
通常表示する	Window 標準画面で表示します。他のソフトウェアをリトマス USB2 の画面上に被せることが可能です。
リトマス USB2 を常に最前面に表示します	常に最前面にリトマス USB2 の画面を表示します。

■ユーザー

■権限昇格制御

制限ユーザーでは管理者に比べアクセスできる範囲が制限されており、それに伴いウイルススキャンできる範囲も狭くなります。Windows Vista 以降の OS で実行時に権限昇格画面を強制的に出し、容易に管理者としてご使用できるようにアシストする機能です。権限昇格にはそのアカウントの ID、パスワードが必要になります。

権限昇格制御

有効

無効

※有効の場合、Windows Vista以降のOSでは起動時にダイアログ(昇格画面)が表示されます。無効にすると本ダイアログは表示されなくなりますが、Windowsのシステムフォルダに存在するウイルスファイルを削除できません。

項目	内容
有効	Windows Vista 以降の OS で強制的に権限昇格画面を表示します。 ログインするアカウントを選択し、ID/パスワードを入力してください。 確認ダイアログが表示されるため自動実行できなくなります。 (ユーザーアカウント制御 (UAC) を OFF にすることで権限昇格した状態で自動実行が可能になります) 注意：管理者権限の ID/パスワードを知らない場合は、[有効]に設定しないでください。 有効の場合、ID/パスワードを入力しないと、リトマス USB2 は起動できません。
無効	権限昇格画面を表示しません。

■各種ボタン

各種ボタンについて説明致します。



ボタン	内容
設定マニュアル	設定に関するマニュアルを開きます。マニュアルは PDF ファイルで作成されているため、PDF が閲覧できる環境で実行してください。
保存	設定をリトマス USB2 へ保存します。リトマス USB2 の電源を抜いても設定は保存されています。
キャンセル	設定を保存せず、設定画面を閉じます。

■タブ：お知らせ

■お知らせ

弊社からのお知らせを受信して、メイン画面に表示するかどうかを設定できます。

お知らせ

受信する

受信しない

リトマスUSB2のアップデート情報や障害情報をリトマスUSB2のメイン画面に表示します。
お知らせは定義ファイル更新時に更新されます。

項目	内容
受信する	定義ファイル更新時に弊社のサーバーからお知らせを受信し、メイン画面に表示します。
受信しない	お知らせを受信しません。

お知らせは、下記の位置に表示されます。

